

事務事業名	百田保育所維持管理事業		所属部局	保健福祉部	単位数	5145
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	百田保育所	課長名	保坂 和美
			所属担当	百田保育所	担当者名	保坂 和美
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01 名称 一般 款 03 項 02 目 04 細目 050 細々目 05		
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	28	児童福祉の充実				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)			法令根拠		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 保育所消耗品、灯油、公用車ガソリン代、電気・水道・ガス、施設修繕料、暖房用空調機修理、電話代、コピーカウンター料金、モップリース代、植木剪定手数料砂場用砂代、ボイラー保守点検委託、浄化槽管理委託、浄化槽清掃代、公用車車検代、公用車自賠責保険料、NHE受信料、CATV料金 直接児童に関わらない管理経費を施設等の状況把握を行い執行をして行く。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 需用費 3,729 公課費 0 役員費 514 委託料 80 使用料及び賃借料 39 原材料費 20 計 4,382		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 予算の執行 光熱水費の無駄の使用がないか職員で共通理解と意識を高める 26年度活動予定 予算の執行 施設・設備等の安全確保に努める	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 調理員使用トイレの修理 1件 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	①施設 ②施設に付随する設備	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 設備数 1ヶ所 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	①施設を良好の状態を維持する。 ②設備がいつでも使用できる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 修繕箇所 3件数 イ 設備に不具合のあった数 件数 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	安心して子育てができる環境づくり 児童福祉の充実	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 保護者への満足度アンケート(保育所評価) 0.8 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	3,823	4,201	4,382	5,308	5,308	5,308	3,842	
		事業費計(A)	千円	3,823	4,201	4,382	5,308	5,308	5,308	3,842	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	
		人件費計(B)	千円	8,738	8,738	8,738	8,738	8,738	8,738	8,738	
		(A)+(B)	千円	12,561	12,939	13,120	14,046	14,046	14,046	12,580	
活動指標	ア イ ウ	1件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
対象指標	ア イ ウ	1ヶ所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	8.0	
成果指標	ア イ ウ	3件数	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	12.0	
		件数	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	12.0	
上位成果指標	ア イ	0.8	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	この事務事業は平成22年2月に新築され、老朽化が著しく平成21年度経済危機対策臨時交付金で保育室床他の修繕・22年度外装工事を実施、定員140人から19年に定員150名に改正した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	白根地区(百々・上八田)のからの入所が大半を占めており、数年180名前後の入所者である。施設も20年目になり、21年度・床、22年度外装の修繕の実施、23年度も内部工事(調理室・乳児室・沐浴室)実施
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	駐車場が狭いと要望がある。(22年度に、駐車場での接触事故が2件・24年度に1件起きている。) 24年度東側駐車場を広げ、整備したことで多少の改善あり。西側の駐車場の使用方法を検討している。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・警備、遊具点検、消防点検、調理室消毒は本課一本契約とし、入札等で安価で信用が有る業者と契約している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	・遊具の安全対策として、砂場の目よけ(鉄骨の修繕等)、土手の補強(園舎側から園庭におりところ) 遊具等のペンキぬり

事務事業名	百田保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	百田保育所
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉法に基づく政策施策である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 社会福祉法人が運営をすることもできる。 公立・民間が情報の交換をしながら、民間のノウハウをとり入れる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 子育て支援において 重要な事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 安全な保育環境を整えることを考えた上で、節約と削減ができるかどうか検討していく。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由↓】 規模が大きいため、統廃合は不可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保護者が安心して、勤務等に行く事が不可能となる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育に欠ける児童150名の受入施設であるため、休止・廃止は出来ない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 デマントアラーム等の器具の設置により電気料金や電話料金の削減につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 保護者のニーズに応える・子どもの安全管理上から、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設運営のための維持管理事業費なので受益機会・受益者負担の適正化を見直す必要はない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子育て支援事業に必要な運営費であるため、廃止することは出来ない。コスト削減により、事業費の圧縮を図るよう職員とも共通理解のもと実施していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 職員にコスト削減の意識をもつよう働きかけ、施設運営費の圧縮を行う。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・職員の共通理解のもと、削減意識を高め、運営費の削減に努めていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					